

第64回 『あいおの会』

-失語症友の会-

1、「失語症友の会」とは

失語症とは、脳卒中や事故などの後遺症によって、言葉を操る能力に障害が残った状態をいい、聞く・話す・読む・書くことすべてに影響を及ぼします。このような失語症の方に対して、言語聴覚士が中心となり、個別の訓練・支援をおこなっております。

失語症の多くの人は、日常の何気ない会話が不自由になり、仕事や趣味活動など、社会活動への参加が難しくなります。そこで、熱海・伊東地区では、失語症の方々のコミュニケーションの機会を作り、交流を深めるという目的で、平成18年7月より「失語症友の会」を開催しております。会には国際医療福祉大学熱海病院と熱海所記念病院の言語聴覚士や患者様のご家族も参加しております。

2、第64回「あいおの会」

令和元年5月12日(日)国際医療福祉大学熱海病院にて、第64回失語症友の会が開かれました。今回は、失語症患者様10名とご家族様、言語聴覚士と様々な人が集まり賑やかな雰囲気で会を進められました。

今回は仲間はずれゲームと都道府県当てゲームの2つを行いました。仲間はずれゲームでは、利用者さんの皆さんで仲間はずれがどれかを予想して頂きました。都道府県当てゲームでは、シルエットや名産品などのヒントから都道府県名を当てて頂きました。どちらのゲームでも皆さんからたくさんの答えが出て、とても盛り上りました。

最後に、富士の山と茶摘みを歌ってもらいました。

*次回は**7月7日(日)**の開催を予定しています。詳細が決まりましたら、別にご連絡させて頂きます。国際医療福祉大学熱海病院で行います。会場は地下1階の会議室となります。

また、**会員費2000円を徴収しますのでご準備をお願い致します。**

